

※本文中の()内の数値は、志願者数の前年度対比指数を表します。

◎主要私立22大学 志願状況概況

2023年度 主要22私立大学志願状況(確定値)

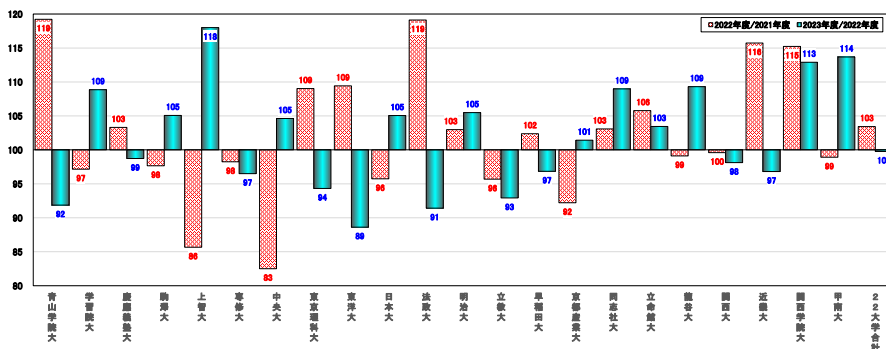
5/19現在

大学名	2023年度			2022年度			2021年度			2020年度
	志願者数	増減	前年度最終対比指数	志願者数	増減	前年度最終対比指数	志願者数	増減	前年度最終対比指数	志願者数
青山学院大	43,948	-3,891	92	47,839	+7,716	119	40,123	-17,699	69	57,822
学習院大	18,094	+1,473	109	16,621	-487	97	17,108	+176	101	16,932
慶應義塾大	37,411	-483	99	37,894	+1,213	103	36,681	-1,773	95	38,454
駒澤大	30,684	+1,483	105	29,201	-701	98	29,902	+1,077	104	28,825
上智大	26,552	+4,049	118	22,503	-3,767	86	26,270	+114	100	26,156
専修大	44,918	-1,829	97	46,547	-834	98	47,381	-3,643	93	51,024
中央大	67,786	+2,991	105	64,795	-13,739	83	78,534	-7,942	91	86,476
東京理科大	50,698	-3,054	94	53,752	+4,451	109	49,301	-7,054	87	56,355
東洋大	87,094	-11,182	89	98,276	+8,468	109	89,808	-11,968	88	101,776
日本大	98,506	+4,736	105	93,770	-4,178	96	97,948	-15,954	86	113,902
法政大	99,035	-9,308	91	108,343	+17,387	119	90,956	-12,672	88	103,628
明治大	108,042	+5,816	105	102,426	+2,956	103	99,470	-3,565	97	103,035
立教大	58,208	-4,438	93	62,646	-2,829	96	65,475	+4,167	107	61,308
早稲田大	90,879	-2,964	97	93,843	+2,184	102	91,659	-12,917	88	104,576
京都産業大	38,275	+540	101	37,735	-3,190	92	40,925	-15,295	73	56,220
同志社大	49,972	+4,118	109	45,854	+1,373	103	44,481	-5,465	89	49,946
立命館大	91,382	+3,047	103	88,335	+4,823	106	83,512	-20,157	81	103,669
龍谷大	61,083	+5,203	109	55,880	-499	99	56,379	+3,098	106	53,281
関西大	77,899	-1,485	98	79,184	-326	100	79,510	-8,115	91	87,625
近畿大	152,191	-5,015	97	157,206	+21,376	116	135,830	-9,490	93	145,320
関西学院大	43,737	+5,000	113	38,737	+5,120	115	33,617	+408	101	33,209
甲南大	16,667	+2,005	114	14,662	-161	99	14,823	-4,176	78	18,999
22大学合計	1,392,861	-3,188	100	1,396,049	+46,356	103	1,349,693	-148,845	90	1,498,538

左のグラフと表は、2023年度入試における主要私立22大学の5月19日時点での各大学発表による志願者数の確定値を集計したものです。2022年度の志願者数についても、前年度最終集計から一部の大学が修正を行いましたので、それを反映させた数値です。

前年度より増加したのは、上智大(118)が大幅増加、甲南大(114)、関西学院大(113)、学習院大(109)、同志社大(109)、龍谷大(109)が増加、駒澤大(105)、中央大(105)、日本大(105)、明治大(105)、立命館大(103)がやや増加でした。

一方で、東洋大(89)、法政大(91)、青山学院大(92)が減少、立教大(93)、東京理科大(94)、専修大(97)、近畿大(97)、早稲田大(97)がやや減少でした。



上智大(118)は共通テスト利用方式で科目負担の軽い3教科型の新設により大幅増加しました。なお、この方式を除いた既存の方式のみでは(92)の減少です。甲南大(114)は一般方式中期や一般方式外部英語試験活用型の新設により4年ぶりに増加しました。

一方で、東洋大(89)は前年度に共通テスト利用方式前期に英語外部試験の利用を可能にしたことで大幅増加した反動から減少しました。法政大(91)は前年度共通テスト平均点大幅ダウンによる不安から、国公立大志願者が私立大併願校を増やす動きの中で狙われて大幅増加しましたが、今年度はこの反動と前年度のような共通テスト後の駆け込み的な併願者が減少したことが要因でした。近畿大(97)は前年度大幅増加の反動でやや減少しましたが、志願者数は15万人を上回り、10年連続で志願者数全国最多となりました。なお、主要私立22大学で志願者数が10万人を上回ったのは、近畿大、明治大の2大学でした。

方式別では、共通テスト利用方式(102)の微増に対して、一般方式(99)は前年度並となりました。共通テスト利用方式は微増ですが、大学別では上智大(124)、学習院大(123)、同志社大(121)、日本大(117)、関西学院大(116)、駒澤大(115)の大幅増加が目立ち、共通テスト利用方式を実施していない慶應義塾大を除く21大学中14大学で増加しました。共通テスト利用方式に新方式を導入した大学があったことに加えて、難関大では国公立大との併願者も多く、この層が共通テスト利用方式を積極的に利用したことも要因です。